

「鶴を折りながら平和考えた」

原爆の子の像に全国の1万4000羽

「平和への願いを折りに参加した子どもたち
り鶴に込めて、平和記が、自ら折ったものや
念公園内の原爆の子の事前に全国に呼びかけ
像へ届けよう」と、8寄せられた1万4000
月21日に広島別院（広島0羽の折り鶴を、公園
島市中区）で行われたまで歩いて届けた（写
安芸教区キッズサンガ真）。



同教区「非戦・平和を願って70年」の取り組みの一環。この夏にプロ野球・広島東洋カープの協力を得て、人気キャラクターを取り入れ製作した「PEACEおりがみ」の頒布にあわせ呼びかけていたこともあり、全国各地からお寺の法座や子ども会、老人会などで折ったものが別院に届けられた。

子どもたちは「平和ってなんだろうと折りながらちょっと考えてみた」「みんなの思いを鶴にすると重いな」と話した。